

週報 みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

三重県水産物消費拡大促進協議会 第28回通常総会 —6月10日 津市にて開催—

6月10日(水)、三重県津市にあるメッセウイングみえ・2階研修室において三重県水産物消費拡大促進協議会(永富洋一会長)の第28回通常総会が開催された。

冒頭、永富会長が挨拶に立ち『これからは消費形態の変化に敏感に対応しながら、魚についての知識や情報、調理方法の提供など、新たな需要の開拓を行うことも必要』などと述べた。

総会では、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画等が諮られ、全て原案どおり承認された。

総会終了後には、魚食普及活動で小中学校へ出前授業を行っている、水産物市場改善協会の大森良美氏の講演が開催された。少しでも多くの方に魚介類を好きになってもらうための取組みは、今後の魚食普及を考える上でも、重要なヒントとなった。



永富会長あいさつ



大森良美氏による講演

平成27年度三重県漁業士会・漁青 連合同総会 開催のお知らせ

三重県漁業士会(藤原隆仁会長)と三重県漁協青壮年部連絡協議会(田中吉兆会長)は、6月20日(土)に三重県松阪庁舎(松阪市)でそれぞれ第24回、第28回総会を開催する。当日は、総会附議事項として平成26年度の事業報告ならびに平成27年度事業計画などが審議される。

漁業者を中心としたヒジキ場再生活動 — 6月16日 南伊勢町神前浦 —

6月16日(火)、南伊勢町神前浦地区でヒジキ再生活動が行われた。この活動は毎年行われており、今回で3回目となる。

作業当日、朝から漁業者を中心とした総勢50名が集まり、2ヶ所の漁場で磯掃除やハンマーなどを使い、ヒジキ繁殖の阻害要因と考えられるウニなどの除去作業を行った後、ヒジキの種まき作業を行った。

今後は、定期的なウニ駆除作業を行いながら生育状況をモニタリングしていく予定。



種まきを行う漁業者

漁業就業支援フェア —6月27日 大阪にて開催予定—

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターは、6月27日（土）にOMMビル（大阪府大阪市中央区）で「漁業就業支援フェア大阪」を開催する。

このフェアは、漁師や漁業に興味のある人と漁協・漁業会社等を繋ぐ目的で、参加者は出展ブースの担当者と直接話しをできる場が設けられる。併せて、双方の合意が成立すれば、出展ブースの研修候補生として採用されるケースもある。三重県からは、早田漁師塾など複数の漁業関係者が出展する予定。

その他、フェア参加者は漁業の概要や漁業種類の違いなど、漁業就業に関する様々な情報を得ることができるのも魅力。また、自身の立場や状況にあわせて、会場を自由に回り、新しい切り口を見つける機会となる。



平成27年度全国海難防止強調運動 に対する協力依頼

（公社）日本海難防止協会、（公財）海上保安協会及び海上保安庁がともに、7月16日から7月31日までの16日間、「全国海難防止強調運動」を実施する。

海の事故を防止するには、船舶所有者、運航者をはじめとする海事関係者、漁業関係者、マリレジャー関係者など、船舶運航に直接関わる者はもとより、海運漁業活動の恩恵を享受している国民一般に対し、海難防止思想の普及、高揚を図る必要がある。

そのため、海の月間の時期に合わせて、「海難ゼロへの願い」をスローガンに官民の関係者が一体となって、平成27年度全国海難防止強調運動を推進する。

これに際して、サブタイトル「海難事故ゼロキャンペーン」を用いて、同運動の更なる浸透を図る狙いだ。

【主な予定】

○6月20（土）

三重県漁青連役員会（松阪）
三重県漁業士会・漁青連合同総会
（松阪）

○6月26（金）

全国漁青連通常総会（東京）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。